

第2回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 1996年1月12日(金) 10:30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

- (1) 委員長代理の指名について
- (2) 高速増殖原型炉もんじゅの2次系ナトリウム漏えいについて
- (3) その他

4. 審議事項

(1) 委員長代理の指名について

中川委員長から、原子力委員会及び原子力安全委員会設置法第4条第8項の規定に基づき、原子力委員会委員長代理に伊原委員が、さらに伊原委員長代理の海外出張等による不在の際の委員長代理には、田端委員が指名された。

続いて、委員長より高速増殖原型炉もんじゅのナトリウム漏えい事故等について幅広く意見を聞いて対策を考えたい旨が述べられ、各委員より、今回の事故に関し、

- ・ナトリウム漏れの問題は情報の隠ぺいの問題とは切り離して検討していく必要がある
- ・技術の発展は失敗の積み重ねであり、失敗を許さないという情勢ができるのは好ましくない
- ・情報公開を効果的に行っていくためのシステムを作る必要がある
- ・「もんじゅ」の安全性については、放射能の閉じこめに加えナトリウムの取り扱いの対策の観点から十分検討することが必要であり、ナトリウム対策技術を含め総合技術体系を確立する必要がある
- ・原子力は、エネルギー問題のみならず人間を支える総合科学技術としての可能性を有している
- ・地元が原子力をどう見ているかを十分認識することが重要
- ・再発防止に努め、損なわれた地元との信頼関係を万全の対策で修復していくべき

等の意見があった。

最後に委員長より、原子力及び核燃料サイクル政策について多くの国民の支持を得るために、原子力委員会としても情報公開のシステムの確

立に取り組むことで、二度と国民に不信感を与えないよう尽力されたい旨が述べられた。

(2) 高速増殖原型炉もんじゅの2次系ナトリウム漏えいについて

標記の件について、動力炉・核燃料開発事業団から、2次系配管のナトリウム漏えいの原因究明のための準備作業及び2次系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業等について報告があった。

これに対し、委員から、

- ・原因究明に関してまず検査・判断の基準を十分考えて検査を行い、結果を公開し、詳しく説明すべき
 - ・温度検出器破損の原因が、当該検出器特有の問題か、他の2次系温度検出器に共通の問題かを十分に検討すべき
 - ・外国の高速増殖炉のナトリウム漏えいで得た経験を十分活かすべき
- 等の意見があった。

(3) 議事録の確認

第1回原子力委員会定例会議議事録（案）が了承された。

<訂正>

- 誤 > ・原子力は、エネルギー問題のみならず人間を支える総合科学技術として
> の可能性を有している ^
- 正 > ・原子力は、エネルギー問題のみならず人類を支える総合科学技術として
> の可能性を有している ^